

10月の支出(図書、備品、慶弔、飲食は除く)

20,677円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	6,216円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	8,399円
通信費(携帯電話)	6,062円
支出計 04/10/2~04/11/1	20,677円
寄付 匿名さん	1,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
04/11/1

第58号

10500部発行

頒布責任者：武松 忠
武松政策研究会

市立病院の現状!?

一般会計から11億3500万円負担!

小田原市立病院は、基幹病院としてはもちろん、唯一の小児科入院施設であり、小児深夜救急にも対応するなど、いざという時に無くてはならない施設です。

全く利用した事のない方もいると思いますが、多額の税金も投入されているので、その現状をお知らせします。

■一般会計から11億3500万円負担!

市立病院の事業収益は、2003年度決算で93億8394万円。(推移は図2参照)

図1に示すように、一般会計からの負担金は、11億3500万円(市民1人当たり5715円)となっており、ここ数年は増加傾向にあります。

収支は、500万円程度の黒字となっています。

■未収金累積1億円!

医療費の未収金は、平成13年以降、増加に歯止めがかかりましたが、毎年の増加分と収納分(不能欠損含む)で相殺され、累積で約1億円になっています。

■下がる外来患者数!

病院の経営状況は、薬価や点数、人件費の見直しにより変動します。最近の特徴は、事業収益が横ばいなのに、**外来患者数が減っている**ことです。

図2のとおり、2001年の外来患者数は、42万4千人だったのですが、2003年には、33万1千人と22%減となっています。その理由は、

- ①薬の長期投与ができるようになった。(2002年)
- ②健康保険の自己負担が3割になった。(2003年)
- ③ドラッグストアが増え、市販薬が入手しやすくなった。などと推測しています。

■市民要望の高い待ち時間の短縮!駐車場の確保!

アンケート等でも、待ち時間の短縮や駐車場が問題となっています。予約診療のあり方も含め鋭意研究中ですのでご期待下さい。

図1 市立病院の一般会計負担金と収支の推移

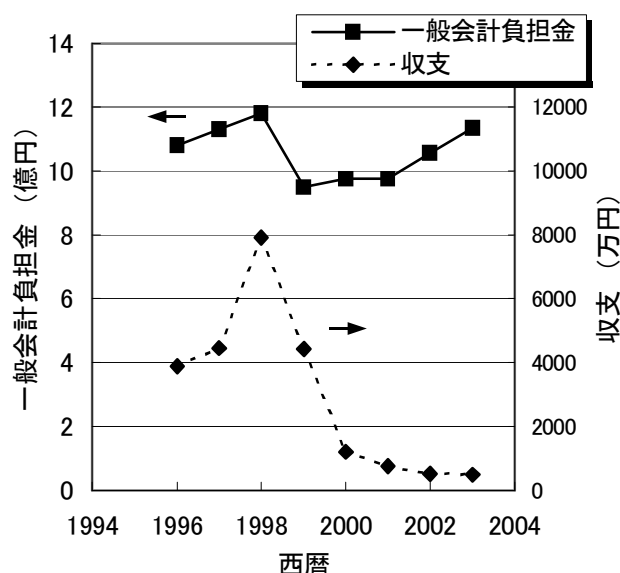
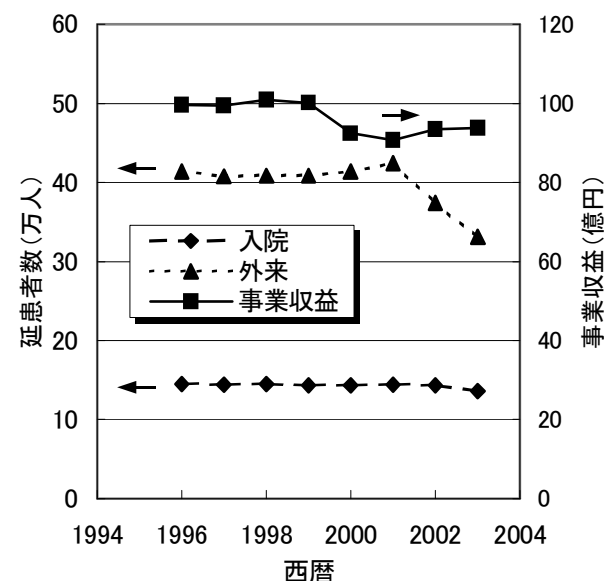


図2 市立病院の事業収益と患者数の推移



元に戻る勇氣!?(2)

先月に引き続き、今回も教育について。

新学習指導要領についてです。新指導要領は、平成10年に改正され、平成12～13年が移行措置期間、平成14年度から完全実施となりました。新指導要領のポイントは、

- ①**完全週5日制**(土日休み)
- ②授業数減に伴い**内容をより基礎基本**の充実に
- ③**総合的学習**(問題点を見つけ、問題点の要因を分析し、効果的な問題解決法を実践、評価する)の導入。などですが、

要領以外にも公務員に対する目が厳しい事から、教職員の夏休み期間中の登校(職員室はエアコンなし)や、研修等が増え、土曜にも登校する機会もあるなど以前よりさらに忙しくなっていました。

通知票も科目毎の評点だけでなく、各科目5項目ほどの評価項目があり非常に複雑になっています。

また、週5日制をビジネスチャンスと捉えた進学塾が、ターゲットを小学生にシフトしたため、学級内での習熟度が2極分化してしまいました。

新指導要領では、先生も生徒も「ゆとり」ができるはずが逆に全然時間がなくなっていました。

そこで**2学期制**が出てくるのですが、表向きは、始業式終業式が1回ずつ減り、十数時間授業時間が稼げると言っていますが……要するに通知表をつける手間が2/3になるわけです。

完全週5日にして、授業時間が足らなくなったから、2学期制にして時間を稼ぐのではなくて、隔週で土曜半日授業をするように元に戻すのが、常識だと思いませんか? それができないのがお役所の特徴なのかもしれませんが……。

お役所にこそ、元に戻る勇氣を!!!

The Voice 今までに頂いたご意見から

月刊武松57号を読んで 60代 男性

お元気でご活躍のご様子うれしく思います。きのう「月刊武松」第57号がポストに入っていました。ありがとうございます。

「国民健康保険の現状!」は、わたし自身、いまお世話になっているので、身近な記事でした。

「元に戻る勇氣(1)」は、**絶対評価も相対評価も問題点がある**と思います。以前〇〇中学校の生徒が「うちの3は、他校の4と同じ。」と話してくれたことを思い出します。

成績の評価についてみんなで考えたいと思いました。

成績評価は、絶対評価も相対評価も問題があると思います。しかし、以前の相対評価の時は、県一斉テストやアチーブメントテスト等で、中学校毎の平均点も分かっていたので、学校毎のランク付けもできていたし、高校入試で言えば、〇〇高校を受けると〇〇〇位だけど、〇〇高校だと〇〇位というように個人の順位まで分かりました。それが昨年の高校入試から、各中学校、いや各先生によって、それぞれ絶対評価をしたのですから、アチーブメントテストがない**現在は、自分が受験する高校の合格確立などはまったく予想できないのです。**ですからなおさら塾のニーズが高まり、しかも各学校のデータを多く持っている**大手の塾が活況を呈している**のです。挙句の果てには、学校の先生までもが「塾に行かないと合格確立がわからない。」とさじを投げてしまうのです。根本的に違うのは、**絶対評価は、個人の習熟度を知るものであって、集団内の順位を知るものではない**ということです。

武松政策研究会 月例勉強会のお知らせ

日 時: 11/20(土) 18時~20時 場 所: 市民会館6階 第1多目的室

テーマ: 「行政視察報告」 10/18~21の行政視察の報告をします。

参加費: 100円 終了後、実費で懇親会を行いますので参加よろしく願います。



ホームページでは、日刊武松(日記)や、月刊武松のバックナンバー、一般質問の会議録も見ることができます。**YAHOO!**で「武松忠」または、「たけまつただし」と入力すると検索できます。

URL <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/>

i-mode <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/i.htm>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 大井町支店出張所 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

月刊武松は**本人が配布**しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、**eメールでも送付していますので連絡下さい。**